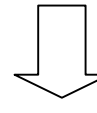


森を育てる炭作り



疑問

Empty rectangular box for writing questions.

読みの課題 かだい

Large empty rectangular box for reading tasks.

\*言葉や一文で、ふせん紙に「」でしるしをつけてはいていきましょ。

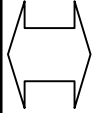
Empty rectangular box for writing words or sentences.

Empty rectangular box for writing words or sentences.

Large empty rectangular box for the main reading or writing activity.

筆者の意見

Empty rectangular box for the author's opinion.



\*キーワードや短い文(一文・かじょう書き)でふせん紙に1つずつ書いてはっていきましょ。

「自然(＝森)からのめぐみ」とはどんなことか

「人間のほうから自然にはたらきかける」とはどんなことか

「自然とともに生きていく」とはどんなことか

「自然(＝森)からのめぐみ」とはどんなことか

まき

下草をかり、落ち葉を集めて田畑に使う肥料を作った

森を焼いてそのはいを養分として利用し、農作物を育てた

炭作りに適している木(ラバン)

炭

「人間のほうから自然にはたらきかける」とはどんなことか

適度に枝を切ったり、下草をかったり、落ち葉を集めたりして、木々や芽に対する日の当たりぐあいを調節し、その成長を助けます。

木を切ることによって、その切りかぶからは新しい芽が育ち、森が若返ります。

木を切るときには、何十年も先のことを考えて切り、切りかぶから出た芽も大切に育てる

森を焼いてそのはいを養分として利用し、農作物を育てた

順番は守られなくなり、手当たりしだいに木が焼きはらわれて、森は少しずつすがたを消し始めました

村の人たちが作った炭は、主にバーベキュー用としてヨーロッパや日本に輸出されるまでになった

必要以上に木を切ることをしない

炭焼きに適した木をさがした

日本の炭焼き技術に着目した

身近にあったラバンの木を選んだ

森の環境を守りながら、なんとか農業を続けられる方法はないかと検討を始めた

炭焼き用にラバンのなえを育てることにしました。

農作物のしゅうかく量は以前よりずっとふえました。

炭を粉末やつぶ状にして畑にまぜて、土の水はけをよくしたり、適度な水分を保持したりすることができるようにした

「自然とともに生きていく」とはどんなことか

炭を作りながら同時に森を保全する

